

恐ろしい土砂災害

西中学校 一年 嶋津 里奈

先日、広島県を中心とした大規模な土砂災害が起こり、たくさんの人々が被害を受けました。三時間で、二一七・五三リ降るなどの大雨で、家屋の倒壊、床上、床下浸水、川の氾濫などの災害で、たくさんの方々が行方不明者を出しました。私達には、直接被害がなかったものの、ニュースなどの情報番組で様子を見ると、すぐにすごかったことが分かる

りました。今回の災害は、「表面崩壊」によるものだと伝えられています。「表面崩壊」というものは、厚さ〇・五メートル〜二メートルほどの土壌だけが、大雨で崩れるという現象です。土石流は、幅五メートル以上にのみ込みました。家や人々をなくした人達は、小学校や公民館などに避難し、大変なつらい思い、生活をしている方もいます。少しでも支援して、楽な生活ができるように、なつて

もらいたいです。そこで私は、なぜこのような大雨が降ったのか考えてみました。大きな一つ目の原因として「地球温暖化」というものがあると思います。「地球温暖化」があることで、高気圧や低気圧などに関係し、大雨が降り、土砂災害が起きてしまうんだと思います。また、そこで「地球温暖化」を少しでも防ぎ止めるために一人、一人がゴミを分別しリサイクルして、エコ活動に協力していくことが大切だと思いました。大きな二つ目の原因として、バツクビルディング現象が起きたからだと思います。バツクビルディング現象とは、積乱雲が風上で繰り返し発生して、風下では雨が降り続ける現象のことです。通常の積乱雲の雨量は、一時間に20ミリほどですが、バツクビルディング現象の積乱雲の雨量は、一時間で百ミリ前後というたくさん雨が降ります。このような現象が起きたことで洪水、土砂災害が起きてしまったのだと思います。大きな三つ目の原因として、日本は土

砂災害が多いということだと思えます。土砂災害が多い理由は三つあり、日本特有の地形が関係していると思えます。日本は国土の約七〇パーセントが山地で占められていて、険しい地形になっていくことが一つ目の理由です。二つ目の理由は、世界の一角を超える活火山があり、大きな地震がおきるなど地球全体で見ると、すごくせまい地域だけにと、大きな自然のエネルギーが集中しているからです。三つ目の理由は、一、二つ目の地形や特徴に梅雨、台風などたびたび降る大雨のため土砂災害や洪水がおこりやすいからです。

私の家の周りには、山がなく土砂災害をあまり身近に感じられません。少し山の方へ行くと、身近町や早川町など県内でも被害が出やすい場所があります。また、私には岩手県に住んでいるひいおじいちゃんかいて、家の周りは山に囲まれ、大きくて太い木が生えています。窓を開けるとすぐ目の前に、その

光景があり、とても心配になります。身近な人がいるとより深く考えるきっかけになります。人的被害を防止するためには、緊急時にどのような避難を行うべきか、またコニワリートなどを使って施設をつくることにより、発生をくい止められるようにすることが必要です。その代表的なものは、砂防ダムです。砂防ダムをつくるのにも、共存する動物や山や川の形を生かして、まわりの環境に気をつけて、つくらなければいけません。土砂災害が

全国各地で発生している一方で、新たな宅地開発が進み、それにもな^らず土砂災害の発生のおそれのある危険な箇所も年々増加し続けています。山梨県内の土砂災害警戒区域数は、約七〇〇区域、その内の土砂災害特別警戒区域数は、約六〇〇〇区域で指定が完了しています。この場所に、家を建てるかなど人間と自然との距離感が重要になってくると

思います。
今の時代は、インターネットやスマートフ

オンでもすぐに情報が分かるので、詳しく調
べたり、日ごろから家族や地域などで災害に
ついて考えたり、いつ災害がおきても大丈夫
なように避難グッズを用意しておくなど意識
を高めて、今生きていることを幸せに思いな
から一日、一日を過ごしていくことが大切だ
と思われました。そして、今回被害を受けた方
々が一日でもおだやかな日常を取りもとす
日は、まだまだ先になるかもレれないけれど、
少しずつ前へ、前へ進んでいって、過ぎて
ほしいと思います。